

学校便り 12月号

令和3年11月25日発行

和歌山市立岡崎小学校

学校長 塩谷 通功

運動会・学校開放週間 ご参観ありがとうございました！

11月6日(土)実施の運動会を皮切りに、12日(金)までを学校開放週間とさせていただきます。

来校いただきました保護者の皆様方におかれましては、お忙しいなかありがとうございました。子供達が学習している様子的一端をご覧いただけたと思います。また、コロナ禍における学校開放ということで、保護者の皆様方をはじめ、地域の皆様方には、種々ご理解とご協力いただきましたこと、この場をお借りしお礼申し上げます。

さて、11月も下旬となり、日本各地でも紅葉が美しい季節となつてまいりました。早いもので、学校では二学期もあと一か月を残すところとなり、二学期のまとめの時期になってきました。自分の立てためあて(目標)に対してどんな努力ができたのか、成果や課題は何かを振り返ります。単に出来映えだけに着目することなく、そこに至るまでの過程にしっかりと目を向け、さらに3学期に向けて新たな抱負を持たせるよう指導をしていきますので、ご家庭でも子供達へのお声掛けなどご協力いただければと思います。

和歌山県誕生 150年

11月22日は、和歌山県が誕生して150年を迎える「ふるさと誕生日」という記事を読みました。紀州は、1871年の廃藩置県後、和歌山、田辺、新宮の3県などに分かれ、同年11月22日に統合され、現在の和歌山県が誕生したということです。県内では、記念イベントやクリーンアップ運動も開催されるようです。

本校では、6年生が12月8日・9日と修学旅行に行く予定です。コロナ禍で、昨年度に引き続き紀南方面に向かいますが、修学旅行の行き先を感染リスクが低い地方に変更しているという状況は、全国的な傾向のようです。新しい生活様式のもと、今後は、民泊や自然体験、平和学習など各地域の特色を生かしたプログラムが増えてくるかもしれませんね。

修学旅行については、昨年度、前任校でも紀南地方に行きましたが、子供達はこれまであまり訪れたことがなかったようで、訪問した各地がとても新鮮に感じた様子でした。ご家族で京阪神方面を訪れる機会があっても、紀南地方を訪れた経験が少なかったのかもしれませんが。コロナ禍を機に、私達が暮らす「ふるさと和歌山」を見直すよい機会にしたいものです。

いつもお世話になり、ありがとうございます

先日、登校中の児童が転んでけがをすることがありました。その際、地域の方が応急手当てをしてくださいました。その他にも、放課後、自転車で転んでけがをした児童の自転車を軽トラで運んでくださったり、下校中の児童にトイレを貸してくださったりもしています。地域の方々のご厚意には、本当に頭の下がる思いです。と同時に、お世話になっている方々に感謝の気持ちを忘れない、そんな子供を育てていきたいと思っています。